

ながぬま



大豆収穫作業

— 27区 鈴田 英隆さん ほ場 —

農協法公布記念日にあたって



北海道農業協同組合中央会

代表理事会長 樽井 功

昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が公布され、今年で76年を迎えました。戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、「農業生産力の増進」と「農業者の経済的社会的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され、農協が設立されました。

農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自主・

自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況を乗り越え、組合員の皆様の営農と生活の安定並びにより良い地域社会の実現を目指し、今日に至っております。

新型コロナウイルス感染症の位置付けは本年5月より5類に移行し、コロナ禍以前の日常を取り戻しつつありますが、各農畜産物の消費は依然として低迷しており、さらに、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが、農業経営に与える影響は甚大なものとなっております。

コロナ禍、国際紛争によって、世界の食料需給事情が一変しました。輸出制限を行い、自国の食料を確保する各国の動きが活発化し、世界的な人口増加による食料不足問題など食料争奪合戦がすでに始まっています。我が国の食料を安定的にどう確保するのか。今こそ大いに食料安全保障の国民的議論が必要となっております。

JAグループ北海道は、日本の食料基地であるという使命感に立ち、食料の安定生産・安定供給と農畜産物の需要拡大を両輪

として引き続き取り組むことが重要であり、国民の命の源である食を守り続けるにも、まさに新しい農業を築き、未来の世代へ繋いでいかなければなりません。

この厳しい時代だからこそ、国民が必要とし消費する食料はできるだけその国で生産する「国産国産」という考え方は、消費者に知っていただきたい大切なテーマであり、1945年に国連食糧農業機関（FAO）が発足した日、さらに1981年に国連が「世界食料デー」に定めた日である10月16日を、「国産国産の日」として制定し、令和3年に日本記念日協会に登録しました。

今こそ、この国産国産の周知、さらにはJA北海道大会で確認された550万人サポーターづくりを推進するべく、JAグループ北海道が一体となって「アグリアクション北海道」と題した統一した取組みをしっかりと実践することが必要となります。

最後になりますが、JAグループ北海道は、協同組合の理念と精神を事業の拠り所とし、今後とも組合員の皆様が夢と希望を持つて営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートすることをお誓い申し上げ、農協法公布記念日にあたってのメッセージと致します。

JAながめま青年部 収穫祭開催

10月8日、JAながめま本所駐車場でJAながめま青年部が収穫祭を開催し、町内外より約700人が来場しました。

開会式にて柴田組合長が「青年部が1年かけて育てた農産物や、飲食店の料理を食べて実りの秋を感じていただきたい」と挨拶をし、坂井実行委員長の開催宣言により収穫祭が始まりました。

青年部では、ブロッコリーや白菜、かぼちゃなど約20品目以上の野菜の販売や、いも・玉



開会挨拶をする柴田組合長



女性部による蒸かし芋無料配布



大抽選会



3 on 3 対決

ねぎ・人参詰め放題、長沼産ユキホマレを100%使用した青年部オリジナル豆腐「誉とうふ」の販売などが行われました。

女性部では、豚汁と新米ご飯の販売や蒸かし芋の無料配布、生活展を行い、フレッシュミズ部会では大豆を使ったイベントが催されました。

JAながめま販売部では牛乳の消費拡大の一環として牛乳の無料配布を行いました。

今年は、町内の飲食店と連携し、Aコープながめま店、長沼町商工会青年部、ウィンドミル、ワイルドハーブ、ブルーベース、ララベルが出店しました。

岩見沢を拠点に活動する3on3バスケットボールチーム「岩見沢FU」によるバスケット

ボール体験

やフリース

ロー対決、

エキシビ

ションマッ

チが行われ

ました。

収穫祭の

最後には大

抽選会が行

われ、会場

は大いに盛

り上がって

いました。



野菜の詰め放題

学校給食農産物贈呈式



10月6日、長沼町役場町長室において、学校給食用の新米ななつぼし500kg、新玉葱100kg、新じゃがいも100kgの贈呈式が行われました。

柴田組合長から齋藤町長へ、日頃より農業に対するご支援・ご協力に感謝を申し上げ、農産物の生育や集荷状況について説明し、「本年も、安全で美味しい米、玉ねぎ、じゃがいもが生産されたので、学校給食を通じ児童や生徒の皆様へ地場産食材をたくさん食べていただきたい」と言葉を述べ贈呈いたしました。

齋藤町長より「天候の偏りによって大変ご苦労された年となりました。生産者のご努力に心から敬意を表します。学校給食では年間通じ、約20%の長沼産農産物を使わせていただいております。毎日約850食に長沼産の農産物が使用されており、引き続き長沼町の教育振興へのご協力と農業発展をご祈念申し上げます」と謝辞をいただきました。

販売部 令和5年産 大豆受入開始

10月19日、令和5年産大豆受入を開始しました。



本年は天候の影響で生育に個人差がありましたが色彩選別機等を使用し、調整・選別を行っています。



販売部 種子馬鈴薯 共選開始



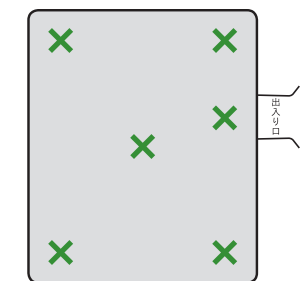
10月10日、種子馬鈴薯の共選作業が始まりました。本年度の作付面積は約32ha、生産者16戸が植物防疫検査に合格した健全な種子馬鈴薯を全国に出荷しています。

長沼町ジャガイモシストセンチュウ対策協議会 からのお知らせ 馬鈴しょ植付ほ場(販売用・家用)の土壌自主検診について

長沼町ジャガイモシストセンチュウ対策協議会では、ジャガイモシストセンチュウ蔓延防止のため土壌検診を実施しております。

ジャガイモシストセンチュウは根に寄生し養分を吸収するため密度が高くなると収穫量が減少し、大きな打撃を受けます。

対策協議会ではジャガイモシストセンチュウの早期発見・蔓延防止のため、馬鈴しょ植付ほ場の土壌自主検診を実施しますので、左図を参考に土壌を採取し提出するようお願いいたします。



- ・採取土壌は、ほ場の四隅、中央及び出入り口の6か所（×印の付近）から深さ10cmほど穴を掘り合計で1kg程度まで採取してください。
- ・簡単なほ場図（共済の図面等）を同時に提出してください。

土壌採取に関するお問い合わせまたは提出先は販売部園芸蔬菜課（88-2228）までお願いします

経営継承に係る 税務個別相談会開催

10月24日から26日の3日間、松井一晃税理士事務所の所属税理士、市村彰典氏を講師に迎え、経営継承に係る税務個別相談会を開催し、13戸16名が参加しました。農協では、担い手・後継者対策の強化として税務研修会を開催しており、今回、

経営継承に係る諸課題など個々の経営体に合わせ、税理士と個別相談する場を設けました。相談会では、経営移譲のタイミングや税務上の準備、経営移譲後の対応等様々な質問がでるなど、理解を深める大変有意義な時間となりました。



4. 処理代金

農業用廃ビニール類	24円/kg(消費税別)
農業用廃プラスチック類	36円/kg(消費税別)

※取引口座（クミカンまたは普通貯金）で支払いいただきます。

5. 助成金

- 長沼町より5円/kg以内の助成金が支給されます。（JAも長沼町と同額を助成。）
- 助成金の支払いは、2回目の回収が終了し、年間処理量が確定した後（12月頃）となります。

6. その他

- 経路におきましては、経路図をご確認のうえご走行お願いいたします。
- ※積雪時は事故防止のため、タイヤチェーンなどの滑り止め装置やスタッドレスタイヤなどの雪道用タイヤの装着をお願いします。
- ※運搬中は、路上への落下防止にご協力をお願いいたします。

～廃ビ・廃プラ回収時注意点～

- ・廃ビニール回収日には、「農ビ（PO除く）」と「それ以外のビニール類」を分けて荷下ろします。分別して車両に積載されますようお願いいたします。
 - ・塩ビパイプなど長さがあるものは、1m以内に切り分けてください。
 - ・農薬の容器類は必ず水洗いし、乾燥または水切りをしてください。
農薬やすすいだ時の液体が付着していた場合は、回収できません。
透明なビニール袋（穀殻用ポリ袋など）に入れ、マジックで氏名を記入してください。
容器が大きい場合は縦に切断のうえ、洗浄・乾燥をお願いいたします。
 - ・ラップ類に牧草などが付着している場合は回収できません。
 - ・運搬中は、路上への落下防止にご協力をお願いいたします。
 - ・フレコン袋は「廃プラスチック類回収日」に回収となります。
- ※フレコン袋の中に廃ビニール類と廃プラスチック類が混在し、分別することが困難な場合は「廃プラスチック類回収日」に搬入をお願いします。
- （処理料金は、廃プラスチック類料金となります。）

お問い合わせ先：ながめま農協 営農部 営農企画課 TEL 88-2226

令和5年度 第2回 農業用廃プラスチックの回収について

農業用廃プラスチックの処理は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」において、産業廃棄物に指定されており、その処理は農業者自らの責任において適正に処理することが義務付けられています。

1. 受入日程

令和5年11月14日(火)～16日(木)

	ビニール類	プラスチック類	
	14日(火)	15日(水)	16日(木)
午前	17区～31区・市街	25区～31区・市街	9区～16区
午後	1区～16区	17区～24区	1区～8区

2. 受入場所・時間

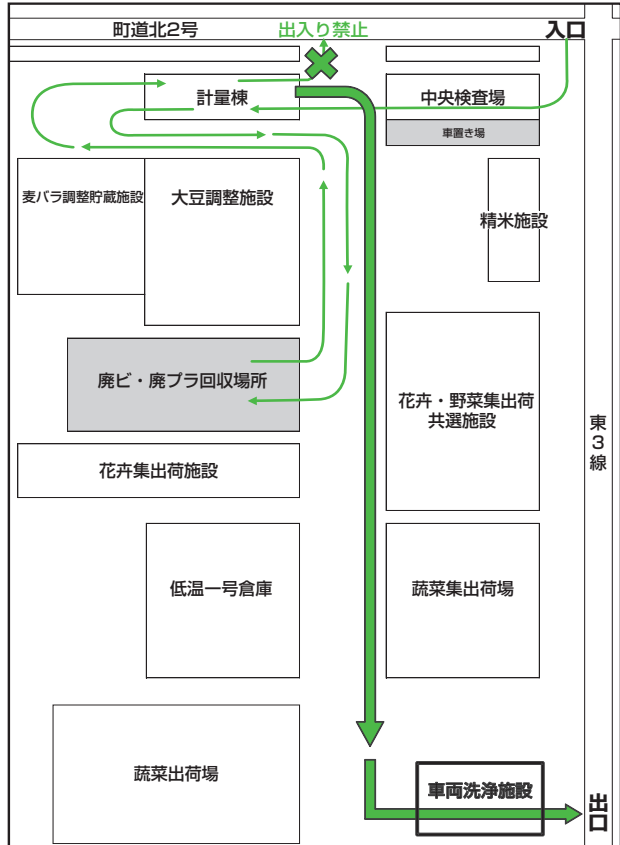
麦バラ調整施設構内（トラック1台毎に回収前と回収後に計2回計量）

- ビニール類▶9:00～11:30、12:30～15:00
- プラスチック類▶9:00～11:30、12:30～15:00

3. 回収物

農業用 廃ビニール類	農ビ・農ポリ・肥料袋・ラップ・マルチ・灌水チューブ ※ <u>上記以外の物は受入できませんので充分注意願います</u> ※ <u>農ビ（PO除く）は、降ろす場所が異なる為、分別して車両に積載してください。</u>
農業用 廃プラスチック類	※ <u>フレコン・農薬容器（洗浄済み）・ネット類・糸入りホース・ブルーシート・点滴チューブ・その他農業用廃プラスチック類</u>
回収できない物	ゴム製品・ビン・金属類・ダンボール・木屑・一般家庭ゴミ・発泡スチロール・FRP（繊維強化プラスチック）・※ <u>苗箱</u>

〈経路図〉





乃木坂46と一緒に学ぶ「^{こく}^{しょう}^{こく}^{さん}国消国産」

乃木坂46と一緒に「国消国産」を楽しく学べるコンテンツが盛りだくさん！
特設ウェブサイトにてぜひアクセスしてみてくださいね！！



乃木坂46メンバー7人それぞれが“選ぶ楽しさ”や“つくる嬉しさ”などを表現！！

【TikTok】
乃木坂46メンバーが「国消国産」の意義やJA直売所の魅力、国産農畜産物等のすばらしさをテンポよく紹介！

【動画】
乃木坂46が出演する28本の動画が勢ぞろい。「国消国産」を学べるものや、メンバーが推し食材の魅力等を全国各地で体当たりレポートした「国消国産を学ぼう!」シリーズなど、多彩な動画をラインナップ！！

【クイズ】
「国消国産」の理解に大切な食や農に関するトピックを題材にしたクイズ。合計クイズ数は21問！分かりやすい解説付き。新しいクイズも順次公開！！



※サイト構成の一部を加工しています

※2022年クイズの内容を加工しています



乃木坂46 国消国産



JAグループ
耕そう、大地と地域の未来。

46
乃木坂



定価(税込)
●普通月号 629円
●付録月号(1・4・5・7・9月号) 922円
●家計簿付き12月号 1,027円

お申し込みは

営農企画課 Tel 88-2232

うーん
自分の お米
思ってたより 種々
なくて
反省の 要々素
いっぱいありすぎ

Month	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
4月	2.0	2.0	3.0	3.0
5月	3.0	1.0	4.0	2.0
6月	2.0	2.0	3.0	0.0
7月	2.0	2.0	0.0	1.0
8月	2.0	2.0	4.0	3.0
9月	3.0	1.0	0.0	3.0
10月	0.0	1.0	4.0	0.0
11月	1.0	1.0	1.0	0.0
12月	2.0	0.0	0.0	0.0
1月	1.0	0.0	0.0	0.0
2月	1.0	0.0	0.0	0.0
3月	0.0	0.0	1.0	0.0

TEL 88-2407
TEL 89-2034

※伝票の保管については、紛失をしないようにお願いします。

理事会報告－第10回－

《令和5年10月20日開催》

〔議案〕

- 第1号 第2四半期自治監査講評について
- 第2号 信用供与等の決定について
- 第3号 担い手支援事業について
- 第4号 共同計算の精算について(令和4年産玉葱)
- 第5号 マネロン及び反社会的勢力等への対応に関する規程類の改正について
- 第6号 資産査定要領の一部改正について
- 第7号 組合員の出資持分一部譲渡及び出資減口について
- 第8号 令和5年度地区懇談会の開催日程について
- 第9号 令和5年7月期ディスクロージャー誌(半期開示)の縦覧について

〔報告事項〕

1. 会議行事報告について
2. 組合員の加入及び脱退の状況について
3. 主要農産物の生育状況について
4. 令和5年産米受入れ状況について
5. 野菜・花き共選等の状況について
6. 内部監査報告について(個人情報保護及び情報セキュリティ(全部署)、無通告監査(子会社)、共同計算の正確性(玉葱))
7. その他

以上、すべての議案について審議し原案通り承認されました。

今月の組合員数 (前月比)

組合員 1,531名(－8)
正組合員 798名(－6)
准組合員 733名(－2)
正組合員戸数 615戸(－7)

農協の動き 9/6～10/20

9月

6日	米の館操業開始	於 米の館
9～10日	長沼まつり友好親善記念長沼町物産展	於 福島県須賀川市
10日	長沼分屯基地創立五十二周年記念行事	於 長沼分屯基地
11日	職員採用試験(面接)	於 農協
12日	ながめま農協年金友の会ゲートボール大会	於 長沼町屋内ゲートボール場
12日	北海道農協畑作・青果対策本部委員会	於 札幌市
12日	農林水産省地域作物課・穀物課との意見交換会	於 札幌市
13日	避難訓練	於 資材・機械センター本所事務所・Aコープ
14日	長沼町町政功労者審議委員会	於 役場
16日	姉妹都市締結50周年記念式典	於 岩手県奥州市
16～17日	姉妹都市長沼町物産展	於 岩手県奥州市
17日	長沼神社例大祭	於 長沼神社
19日	空知管内農協組合長会議	於 岩見沢市
21日	旗の波街頭啓発	於 役場
27日	無通告監査(子会社)	於 子会社
28～29日	内部監査(個人情報保護・情報セキュリティ)	於 各部署
29日	退職辞令交付(9/30付)	於 農協
29日	職員採用試験(筆記)	於 農協
30日	農林水産省と空知管内農協組合長会との意見交換	於 空知農業会館

10月

1日	長沼町総合防災訓練	於 りふれ
4日	ながめまクリーンライス生産協議会「ゆめびりか部会」役員会	於 農協
6日	学校給食用農産物贈呈	於 役場
6日	麦・大豆生産流通協議会 大豆委員会	於 農協
6日	粳バラ施設運営協議会・自主検定委員会	於 農協
8日	青年部 収穫祭	於 農協駐車場
10日	種子馬鈴しょ共選事業開始	於 共選場
11日	監事会	於 農協
11日	中央会オンサイトモニタリング	於 農協
13日	職員採用試験(面接)	於 農協
16～18日	職員研修旅行	於 長崎県・福岡県
17日	空知地域生乳共販員会	於 空知農業会館
18日	空知管内農協組合長会議	於 空知農業会館
19日	麦バラ施設 大豆受入開始	於 麦バラ施設
10～20日	肥料推進	於 組合員宅
20日	理事会	於 農協

年賀状印刷
喪中はがき



Aコープながめま店 ☎88-2222
Aコープ北長沼店 ☎89-2136



JA だより ながめま
2023.11月号 No.357

〒069-1393 夕張郡長沼町銀座北1丁目5番19号
発行/ながめま農業協同組合 営農部営農企画課
TEL/0123-88-2226 FAX/0123-88-4113
URL/http://www.ja-naganuma.or.jp